

主催：スポーツ庁／公益財団法人日本学校体育研究連合会
共催：北海道教育委員会／札幌市教育委員会
北海道学校体育研究団体連絡協議会
主管：第64回全国学校体育研究大会北海道大会実行委員会

大会主題

豊かなスポーツライフの実現を目指し、
「自ら」課題を発見し、
その解決に向けた学習過程を通して
資質・能力を育む体育・保健体育学習

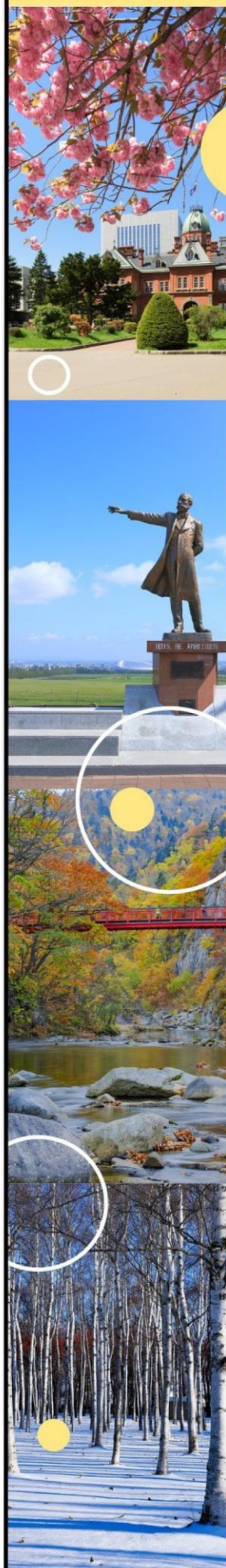
第64回

全国学校体育研究大会 北海道大会

2025
令和7年

10月30日・31日
THU FRI

第64回全国学校体育研究大会北海道大会実行委員会事務局
〒001-0905 札幌市北区新琴似5条11丁目4-1
札幌市立光陽小学校内 TEL 011-761-2521
Email : naoyuki.takahashi@city.sapporo.jp



大会趣旨

これからの時代を生きる子供たちが、明るく豊かで活力ある生活を営むためには、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することが重要である。これに向けて、学習指導要領等では、幼児児童生徒が身に付けることを目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、内容等の改善が図られた。これらの資質・能力を育むためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組が必要であり、令和の日本型学校教育の構築が欠かせないといえる。

そこで本大会では、幼稚園教育要領・学習指導要領の趣旨及び内容、並びに北海道の子供の実態やこれまでの研究実践を踏まえ、大会主題を「豊かなスポーツライフの実現を目指し、『自ら』課題を発見し、その解決に向けた学習過程を通して資質・能力を育む体育・保健体育学習」と設定した。

これまで北海道では、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の視点を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主題の具現化を目指してきた。そのために、幼児児童生徒が「～したい」という思いに支えられながら活動に取り組み、自ら課題を発見して解決していくための手立てを追究してきた。また、幼児児童生徒が自らの課題の解決に向けてICTの活用や他者との関わりなど、自分にあった方法で学習を進めることができるよう、指導と評価の場面やその方法を明確にし、学習過程の工夫を図ってきた。

本大会では、北海道が進めてきた授業改善の成果を踏まえ、令和の日本型学校教育の構築を目指した授業を公開し、各分科会において大会主題に掲げる体育・保健体育学習の在り方について提案する。

第1日目 全体会

2025. 10.30(木)

カナモトホール [札幌市民ホール]

札幌市中央区北1条西1丁目

9:30	10:30	11:40	14:00	17:00
受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食
10:00	11:20	13:10	15:50	
			シンポジウム	特別講演

第2日目 分科会

2025. 10.31(金)

各分科会会場園・学校

※各会場により、時刻に違いが生じる場合があります。

9:00	12:00	15:00
受付	公開保育・授業	昼食
9:45	13:00	
	研究発表・研究協議・指導講評	閉会

分科会場

第1分科会	認定こども園札幌大谷幼稚園	第6分科会	札幌市立 日章中学校
第2分科会	札幌市立 北九条小学校	第7分科会	札幌市立 羊丘中学校
第3分科会	札幌市立 幌南小学校	第8分科会	札幌市立 真駒内中学校
第4分科会	札幌市立 二条小学校	第9分科会	北海道 恵庭南高等学校
第5分科会	札幌市立 白楊小学校	第10分科会	北海道 北広島高等学校
		第11分科会	市立札幌みなみの杜高等支援学校